すくらむ

vol.40
2011.10
http://www.scrum21.or.jp

特集

イクメンの喜び、カジダンの楽しみ。

インタビュー

ダンウェイ株式会社
代表取締役社長 **高橋 陽子**さん

Interview インタビュー

vol.1

かわさきを舞台にしなやかに、かろやかに、
いきいきと活躍されている、
魅力あふれる方を紹介します。

「たんぽぽ（ダンデライオン）の白い綿毛のように、地域に広がって欲しい」

高橋陽子さん

（ダンウェイ株式会社　代表取締役社長）

2011年1月、中原区新城あいもーる商店街に、障がい者就労支援事業をおこなう株式会社が設立された。会社を立ち上げ、代表を務めているのは高橋陽子さん。女性起業家であり、障がい児の親でもある高橋さんにお話を伺いました。

3つの顔

私は、代表をさせていただいていますが、それ以外に2つ、合わせて3つくらいの顔をもっているんです。

私自身も障がい児の母親です。2人の子どもがいて、小学校2年生になる長男は知的障がいの自閉症で、まだ言葉の概念が理解できないんですね。ただ、彼のいいところを伸ばしたいと考え、いま長男は地域の学校の特別支援学級に通っています。

今の仕事の前はずっと総務人事畑で、障がい者の会社（特例子会社）の立ち上げに総務人事という立場でたずさわったのが、障がいとの最初の出会いなんです。ちょうどそのときに、途中で長男に障がいがあることがわかって、みんながたどる、外にも出られない、障がいだと認めたくない、親戚にも言えないという時期が約1年以上続きました。周りにたくさん応援し、背中を押してくれる方々がいて、前向きになったときに、その会社で働いている障がいのある方々がすごく輝いていて、「うちの子はどうやったら彼らのようになるのか」と考えたのが、1つの原点になっています。同社を立ち上げたのはメーカー経験者の方なのですが、仕事の棚卸し、工程分析、適正配置等がとても上手で、私も総務人事としてその分野が非常に好きだったこともあって、かなり通って教えてもらい、「障がいのある方々でも、しっかりと適正配置をしていくことで、企業の戦力になる」ということを実感しました。そして、これをきっかけに、以前から興味のあった労働生産性の追求を今も続けています。

そして、2人目の子の育児休暇を取っているとき「長男が1年生にあがるときには独立をしよう、自分でやろう」と思い、何をやったらいいかなと考えたときに、総務人事が長いですから、社会保険労務士の資格取得を目指すことにしました。家族や親戚に支えてもらったおかげで資格を取得することができ、昨年社会保険労務士事務所も開業しました。

結果的にその3つ（会社代表、障がい児の親、社労士）の側面があることで、今は色々な角度から、たくさんの方々とお会いする機会が増えてきています。いろいろと経営者同士、お客様と話をしていると、だんだんと経営者だからこその相談があったりして、「社労士さんだったら、労務の相談も…」となったり。あとは当事者であり、保護者の立場であるからこそ、「もっと可能性があるよ」といったことを本気で言い合えることもあります。場面により色々な側面で話すことができたりと、いい相乗効果が出ていますね。

こだわり――株式会社と福祉事業所

数年前に法律改正があって、NPOや社会福祉法人でなくても法人格であれば、株式会社でも福祉事業所指定をとれるようになりました。

福祉事業所は一般的に作業的な仕事が多く、外から仕事をもらって納品するということも重要なんですけど、それだけだと弱い立場になってしまって納期も価格も厳しい状況に陥ってしまう。そうするとやりたいことができなくなるので、やっぱり自社発信が重要だと思っていて、作業的な仕事以外にもクリエイティブな業務――全くないところ、0から100まで作り上げるという自社発信の業務――を柱に入れています。

企業が求める労働生産性を、自社発信により「障がいのある方々でも労働生産性を追求できる」という形で証明したいということで、株式会社にしているんですね。だから、この2つの側面（株式会社と福祉事業所）をもっているというのは、とてもこだわりのあるところなんです。

最大目標は「社会での自立」

10年後のビジョンとして、障がいをもつ方のその人なりの自立に向けた取組み、同時に障がい者の親の社会進出も進めることを目指しています。そのためには地域がとても重要なので、地域と共に生きる共生社会、地域コミュニティも私たちが目指しているところなんですね。そして、障がい者の自立の最大目標を「社会での自立」と位置づけています。

ダンウェイが商店街に立地しているのには大きな意味があって、障がい児は養護学校に通う場合はバス通学がほとんど。そして地域の学校との通学時間の違いも約1時間くらいあるんです。こういった環境下では、地域の子どもたちとなかなか会えない。それが、結果的に、障がい者雇用をうまくいかなくさせていると思います。「子どものころから、交わっていない＝慣れていない」ことが要因だということです。なので、商店街だったら買い物をする等の目的で地域の人が集まるため、障がい者と健常者がお互いに「慣れることができる」と考えたのです。会社の1階はフラットにしてあって、就労支援をしていない時間にも、地域・保護者との関わり、イベント等もできるように、多目的なスペースとして活用する。2階も必要があれば。なので、家具は簡易的な、配置換えがしやすいものにしています。色んなことがあって、ふたを開けると色んな人がいるようにと意識して仕掛けをしていきます。

また、保護者の社会進出もすすめたいですね。意外と知られていない部分で、障がいの児の保護者、家族は、いろんな部分で閉鎖的になって世の中に出られなくなり、家庭で抱えることが多い。そして複合的な理由から、最悪なケースでは、生活保護になるという負のスパイラルが結構あるんです。そんな人生は悲しすぎる。

物事を前向きに受け止めることができたとき、必ず道は開けます。「誰にでもチャンスは平等にある！」非常に難しいテーマですが、そんな世界をつくっていきたいですね。

すくらむこらむ ～東日本大震災から半年が過ぎて

震災から半年が過ぎた今、日本中、いや世界中の人が惜しみない支援をする中でも、災害復興ははかばかしくは進んでいません。震災の影響で失業した労働者は被災3県で7万人にのぼり（厚労省発表）、被災者の中にはまだ生活基盤のめども立たない方もいます。避難所生活を出て仮設住宅に入った方もいますが、買い物、通院、地域のつながりの途絶えなど、さらに多くの課題が出てきています▶9月29日の読売新聞夕刊に「あの日逃げ切った海に　なして」という記事が掲載されました。それは仮設住宅に移り、1ヶ月経った女性の入水自殺の記事でした。女性は震災時自宅におり、一緒にいた義父は流されて亡くなりましたが、日記には日々の変化のある生活や避難所で配膳係を行なったことが記されるなど、予定がぎっしり詰まった生活をしていました。しかし、仮設住宅に移ってからは予定は空白で、義父を助けられなかった自分を責める言動が見られ始めたとありました。女性の夫は言います。「妻は仮設住宅に入りやることもなくなり、自分を責めるようになったかもしれない」「あの日、必死で逃げ切った海に、なしてもう一度飛びこばねばならなかったのかね。考えても、考えても分からない」▶この記事からは、人は住まいや食事が足りているだけでなく、生きる支え、必要とされて生きることが重要と感じます。そうした視点から働くことの意義、意味を考えたとき、特に就労の面で女性への手当てを強く望みます▶復興対策はこれからが本格的に始まり、長い戦いになります。復興対策の責任者の方たちには、そして私たち一人ひとりも、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人の声に、もっと耳を傾けなければならないのではないでしょうか。

特集

イクメンの喜び、カジダンの楽しみ。

かけがえのない体験を逃さない

イクメン――2010年の流行語大賞にもノミネートされたので、聞いたことがある方も多いかもしれません。言うまでもなく、「イケメン」に引っかけて造られた言葉で、「子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性」*1、つまり「育児を楽しむメンズ」のことです。では、「カジダン」という言葉のほうは、どうでしょうか。こちらの意味は、「家事に積極的な男性」のこと。流行にのって、最近では全国のあちこちでイクメンやカジダンのフォト・コンテストなど、さまざまなイベントも開催されています。

ところで、どうして、いま男性の育児・家事なのでしょうか。かつてであれば、多くの家庭で家事や育児などを女性が担い、男性は職場で仕事をするという分担で社会は成り立っていました。でも、人口減少社会と言われる現在、社会の活力を維持するためには、性別に関わらず一人ひとりが、あらゆる領域で能力を発揮することが欠かせません。でも、女性が職場で、地域で活躍するためには、それを可能にする条件が整っていなければならない。そうした時代的、社会的な要請もあるでしょう。

ですが、男性の育児・家事は「女性のためだけ」ではないのです。一生のうちで、育児をして子どもとともに成長すること、夫婦や家族で一緒に過ごす時間は、かけがえのない体験です。なのに、育児や家事をしないのは、男性自身にとっても貴重な体験を逃しているということにもなるのではないでしょうか。

「イクメン」「カジダン」がなくなる日

実際のところ、男性は育児や家事をどれくらい担っているのでしょうか（図1, 2）*2。平日は、育児に13分（女性1時間25分）、家事に1時間20分（女性4時間2分）となっています。最近では、朝夕に子どもを保育園や幼稚園に送り迎えするパパの姿も珍しくなくなりましたが、それでもやはり仕事をしている平日は、育児も家事もわずかな時間しかとれていないようです。では、仕事がない（はずの!?）休日はどうでしょうか。育児は41分（女性1時間36分）、家事については2時間24分（女性4時間54分）。平日より増えてこそいますが、イクメンやカジダンはまだ少数派なのかもしれません。

大阪大学の伊藤公雄さんは、かつて（といっても15年ほど前でしかないのですが）「洗濯物が、外で干せますか」という質問で、男性の生活の自立度がわかるとおっしゃっていました*3。「外で干す」ということは、その姿を誰かに見られるかもしれず、それができないのは「男のメンツ」にかかわると考えているからだ、というのがその理由のようです。

若い世代を中心に男性の育児・家事が当たり前のようになりつつあるいま、この質問では男性の生活の自立度をはかれないかもしれません。でも、ちょっと立ち止まって考えて欲しいことがあります。「イクメン」や「カジダン」という言葉の流行は育児や家事を積極的におこなう男性を増やすことにつながる一方で、これらの言葉が流行するということ自体が、育児を楽しみ、家事を積極的におこなう男性がまだ「特別」の存在であること、あと押しを必要としているという現状を示しているのではないでしょうか。男性はまだまだ育児・家事を「手伝う」というスタンスだという声も、ちらほらと聞こえてきます。男性自身が育児に喜びを見出し、家事を楽しむ未来に向けて、「イクメン」「カジダン」という言葉がなくなり、育児・家事が男性の日常に溶けこむ日に向けて歩んでいきませんか。

図1　平日（川崎市）

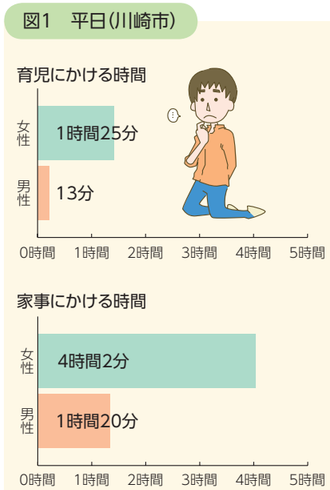
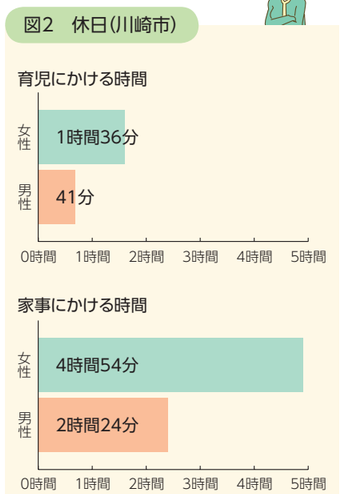


図2　休日（川崎市）



＊1　厚生労働省「イクメンプロジェクト」http://ikumen-project.jp/

＊2　図1、図2は川崎市「2011（平成23）年版　かわさきの男女共同参画データブック」をもとに作成。「家事」は、炊事・買物・洗濯・掃除の合計時間。回答者は女性714名、男性454名。

＊3　伊藤公雄『男性学入門』1996年,作品社,79頁。

カジダン・イクメン川柳

すくらむ21で募集した、「カジダン・イクメン川柳」の一部をご紹介します。

スーツから
エプロン姿
午後6時
さかいともみさん　30代

洗濯機
横でたたずむ
あれは父
なっちゃんさん　10代

カジダンが
過ぎて妻には
悪妻疑惑
角森玲子さん　40代

チャリ勤で
行きはゴミのせ
帰りネギ
落屋庵さん　50代

夫婦する
家事に育児が
時間生む
マーちゃんさん　20代

干し方は
夫のやり方
妻習う
すぅぷさん　30代

定年後
家族喜ぶ
風呂掃除
ラッキーさん　60代

俺だって
眠いが続ける
子守唄
まっちゃんさん　30代

泣き方も
聞き分けられて
パパの耳
あーさまさん　50代

夫もね
気づけば上手
オムツ替え
カッシーさん　30代

つながる ふくらむ ふかまる

すくらむ21スタッフがオススメする、本、映画、アートなどを紹介します。

Book 『平成オトコ塾 ——悩める男子のための全6章』

澁谷知美 著
1,470円／2009年　筑摩書房

初めてこのタイトルを見て「またこの手の本か」と思いつつ読んでみたところ、内容はイメージしていたものとは違うものでした。様々な資料やデータをもとに、昔ながらの「男らしさ」を非難するだけでなく、「こういう生き方（考え方）もあるけど、どう？」と提案してくれています。時代の変化とともに「男らしさ」の意味も変わりつつある今、これからのオトコの生き方を考えてみてはいかがでしょうか。

Picture Book 『じぶんだけのいろ ——いろいろ さがした カメレオンの はなし』

レオ＝レオニ 作
谷川俊太郎 訳
1,068円／1975年　好学社

この作品の主人公はカメレオン。カメレオンは、ひとつの悩みを持っていました。「ぼくらは　どうしても　じぶんの　いろを　もてないんだろうか？」ところが、春になって、ひとつの答えを見つけます。自分だけの色がないと思っていたカメレオンに変化が……。ページをめくりながら、なぜか親近感を抱き、共感してしまいます。カメレオンはページごとに色が変わり、とてもカラフルで楽しい、だけど奥深い内容です。おとなも、こどもも楽しめる絵本です。

Comics 『うさぎドロップ』（1～9巻）

宇仁田ゆみ 著
979円／2006～2011年
祥伝社フィールコミックス

映画化、アニメ化もされ、いま話題となっている作品の原作マンガです。 30歳独身で、子どもが苦手、女性が苦手な大吉は、ひょんなことから6歳の少女りんの「父親代わり」として、2人で暮らすことになります。保育園、小学校入学、発熱など、何もかも初めてでわからないなかで家事・子育てに奮闘する姿に少しハラハラさせられながらも、こころがほんわかとする物語に、ぜひ触れてください。

Book 『子どもが育つ条件 ——家族心理学から考える』

柏木恵子 著
798円／2008年　岩波新書

タイトルの「条件」という言葉は少し強く感じるかもしれませんが、「家族心理学から考える」という副題がポイントです。生活の様式や社会の変化などから家族の関係や心がどのように影響を受けるかが、考えられています。特に、親による「子育て」と、子ども自身の「子育ち」の間でバランスを取ることの大切さは、11月に父親になる自分にとっては大切な言葉でした。夫婦から家族に「なる」だけでなく「家族する」ことの意味を心がけたいと思わせてくれる1冊です。

レシピ Recipe

おやき

レシピ

材料（8個分）
強力粉……100g
米粉……100g
塩……ひとつまみ
熱湯……130ml
具はお好みで

❶ボールに強力粉、米粉、塩をあわせておきます。
❷さい箸を数本束ねて混ぜながら少しずつ熱湯を加えていきます。
❸やけどしないように熱さに気をつけながら、手でまとめ、まるめてボールにいれて、ラップをかけて20分ほど休ませます。
❹生地を8等分にし、直径10cmほどに丸くのばし、お好みの具を入れて包み込みます。
❺フライパンに油をひき、中火で包み目を下にして焼き、色が付いたら裏返して同じように焼き、水100mlを注いで蓋をし、中火で7～8分蒸し焼きにします。
❻蓋を取って、水気を飛ばして仕上げます。

おやきは手軽に作れて、沢山できても冷凍保存が可能です。冷凍したおやきは、蒸して温めるとふっくらとしておいしいです。

小さなお子様などは、1回に食べられる食事の量が少ないため、おやつとして甘いものではなく、おやきのような軽いお食事の代わりとなるものがオススメです。中に入れる具は、きんぴらごぼう、切り干し大根、ひじき、かぼちゃの煮物など、おかずの残りを利用できます。砂糖を使わず自然な甘みを生かすのがポイントです。

今回の具として使用した、切り干し大根の煮物の作り方

材料（作りやすい量）
切り干し大根……25g
油揚げ……1枚
油……小さじ1
醤油……大さじ1.5～3

❶切り干し大根は、水を張ったボールに入れて、さっと振り洗い、つまんでざるにあげておきます。
❷油揚げはさっと湯通ししてタテ半分にし、切り干し大根と同じくらいの太さに切りそろえます。
❸鍋を温め油を入れ、切り干し大根、油揚げを加えて炒め合わせます。
❹材料がかぶるくらいの水を加えて蓋をし、沸騰したら火を弱めて、沸々としているほどの火加減で煮ます。
❺やわらかくなったら、醤油を加えて煮含めます。
ポイント 切り干し大根は長く水につけておくと旨味が水に流れてしまいます。さっと振り洗ったら、ざるにあげて、少しの水分で戻すようにしましょう。

マクロビオティック

「マクロ＝大きい」「ビオ＝生命」「ティック＝方法、術」という言葉を組み合わせた造語で、〈長生き法〉とも言われます。
自分が生まれ育った土地のものを食べ、自然の旨味を引き出すべく、調味料も昔ながらの製法で作られた自然なものを使用します。

よりくにこう
寄國揚こ

リマ・クッキングスクール公認マクロビオティックインストラクター
2010年3月に長年勤めた会社を辞め、すくらむ21主催の起業家向け講座などでの起業準備を経て、現在は都内各所で出張料理教室や契約家庭において出張料理などを行う。
http://ameblo.jp/yori920303/
http://www.facebook.com/macrobianyori

✻「女性のための総合相談」のご案内

すくらむ21では「女性のための総合相談」として女性の皆様からの様々なご相談をお受けしています。
「女性の悩み相談・キャリア相談」は相談員と一対一で過ごす時間です。生活の悩みも、生き方も、働き方も、時間とともに変化するもの…。電話でのご相談は、その第一歩です。ご相談内容については、秘密を守ります。迷っている方も、まずはお電話ください。

	電話相談 悩みを抱えている女性のための電話相談	面接相談 まずはお電話でご予約ください
たとえば こんな方に…	●いきなり対面で相談するのは勇気がいる ●事情があってなかなか外出できない ●悩みを他人に話す機会がない 	●対面でじっくり話したい ●法律の専門家から具体的なアドバイスが欲しい ●自分の将来について話し合いながら、考えたい
相談内容	こころ、からだ、性差別、家族、子育て、女性に対する暴力、生き方、人間関係の悩みなどの相談	女性の悩み相談・キャリア相談 女性弁護士による法律相談
相談方法	ハロー・ウィメンズ110番【匿名でお受けしています】 **044-811-8600**	ハロー・ウィメンズ110番【予約受付】 **044-811-8600**
相談日・相談時間	日曜日 12:00～17:00 月～木曜日 10:00～15:00 金曜日 15:00～20:00 ※土、祝日および年末年始はお休みです。 FAX なお、聴覚に障がいのある方など、電話でお申込みができない方はFAX（044-813-5872）をご利用ください。	❶女性の悩み相談・キャリア相談：第1・3木曜日 10:00～12:00／第2木曜日 10:00～14:00 ❷女性弁護士による法律相談：第1・3木曜日 13:00～16:00 ※面接時間はいずれも祝日および年末年始はお休みです。

カジダン・イクメン写真 募集

すくらむ21は、市民館・川崎フロンターレ等との共催でカジダン（家事に積極的な男性）・イクメン（育児を楽しむメンズ）の写真を募集します。イクメンには、イクジイ（孫育て・子育て支援で地域貢献するおじいちゃん）も含めます。男性も家事・育児をするのが当たり前になっている今、あなたの身近なところにも、きっとステキなカジダン・イクメン・イクジイがいるはずです。普段の姿を写真にとって、ご応募ください。ご応募いただいた写真・グランプリ受賞作品は、すくらむ21や市民館・図書館・アゼリアなどに展示予定です。

未発表のもの1人1点。応募写真は原則として返却しません。

カジダン・イクメン、それぞれの入賞者には **賞品もあります！**
●カジダン・イクメングランプリ賞 **商品券 各10,000円**
●川崎フロンターレ選手特別賞 **2012開幕戦チケット4枚（1組）**

募集期間
2011年11月15日～12月16日（必着）。選考委員会にてグランプリ賞作品を選考の上、発表（1/20頃）。川崎フロンターレ選手による選手特別賞は1月末頃に発表。

応募方法 カメラで撮った写真を添付し、必要事項を記入の上、携帯、PCにて送付ください。プリント済み写真は、郵送もしくはすくらむ21・最寄の市民館の専用ポストへ投函してください。

お問合せ 川崎市男女共同参画センター カジダン・イクメン写真募集係 TEL:044-813-0808

すくらむ21
発行年月 2011(平成23)年10月
編集・発行 川崎市男女共同参画センター（愛称:すくらむ21）
所在地 〒213-0001 川崎市高津区溝口2-20-1
ホームページ http://www.scrum21.or.jp/
電話 044-813-0808
FAX 044-813-0864
デザイン ジャパンスタイルデザイン株式会社
携帯サイトはこちら